

ここでは、男女共同参画社会を推進するために、
様々なかたちで活動している市民の皆さんをご紹介します。
今回は、子どものための冒険遊び場づくりを進める
「さいたま冒険遊び場・たねの会」の活動取材しました。

自分の責任で自由に遊ぶ！

さいたま冒険遊び場・たねの会

INFORMATION

「You&Me~夢~」 通信員決定！

通信員募集について、たくさんのご応募を
いただきありがとうございました。レポート
審査の結果、今期の通信員が決まりました。
青島朋子さん、石川めぐみさん、熊谷照子
さん、小西直子さん、福地一夫さん、藤川
幸子さん、堀鈴子さん、武藤勝美さん
今後、2年間どうぞよろしくお願ひします。



さいたま市男女共同参画社会情報誌

「You&Me~夢~」

この情報誌のタイトルには、「あなたとわたし、そ
して女性と男性が互いに認め合い、自分らしく
心豊かに暮らせるまちをめざして、夢の実現に向
けて行動しよう」という思いが込められています。

平成18年10月1日発行

さいたま市市民局生活文化部男女共生推進課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
TEL 048-829-1231 FAX 048-829-1969
E-mail: danjo-kyosei@city.saitama.lg.jp

◎本誌へのご意見・ご感想は、
男女共生推進課まで。
FAXやE-mailでも受け付けています。

最近の子どもたちの遊びといえば、家
の中でゲームをするのが主流になつてき
てはいないでしょうか。自由に遊べる時間
や空間が少なくなり、子どもの世界も変
化しています。でも、本来子どもにとつて
「遊ぶことは生きること」。もっと自由に
遊んで、過ごせる場所が日常にあつたら：

「冒険遊び場」あるいは「プレイパーク」
と呼ばれる子どもたちの遊び場は、1940
年代にデンマークでその原型が誕生しま
す。そして、子どもたちが集まると、母
親同士が語り合っていました。子ども
たちが集まると、母親同士が語り合
っていました。子どもたちが集まると、
母親同士が語り合っていました。



木工コーナーでは小さな子どもたちも金づちを使います。



竹の先につけた生地を炭火で焼く、野外でのパン焼きです。

そんな気持ち
から子どもを
持つ母親たち
が集まり、親
として、大人
としてできる
ことを始めた
のが「冒険遊
び場・たねの
会」のスター
トでした。「ホ
ームページの
掲示板で子
どもの遊び場
に

した。日本では、1979年に東京都世田
谷区に初の常設の冒険遊び場ができ、現
在200を超える団体が、遊び場作りに取
り組んでいます。子どもがのびのびと、思
い切り遊べるように禁止事項をなくし、
「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に
しながら、木登り・ハンモック・どろんこ遊
び、自然やロープ・布等の様々な素材、道
具を使って自分のしたい遊びを実現してい
きます。

たねの会は、「冒険遊び場をさいたま市
にも」と、これまで市内のキャンプ場を中
心にミニプレイパークを開催し、研修会・学
習会等と様々な活動を行ってきました。最
近は、父親の参加も目立ち、取材当日も火
おこし・工作遊びに大奮闘していました。
「子ども以上に、自分自身が楽しんでいま
す」という父親の声も。冒険遊び場を作る
ための活動は、今後もさらに人の輪を広
げ、夢の実現へと近づいていくようです。

(6月25日 取材)